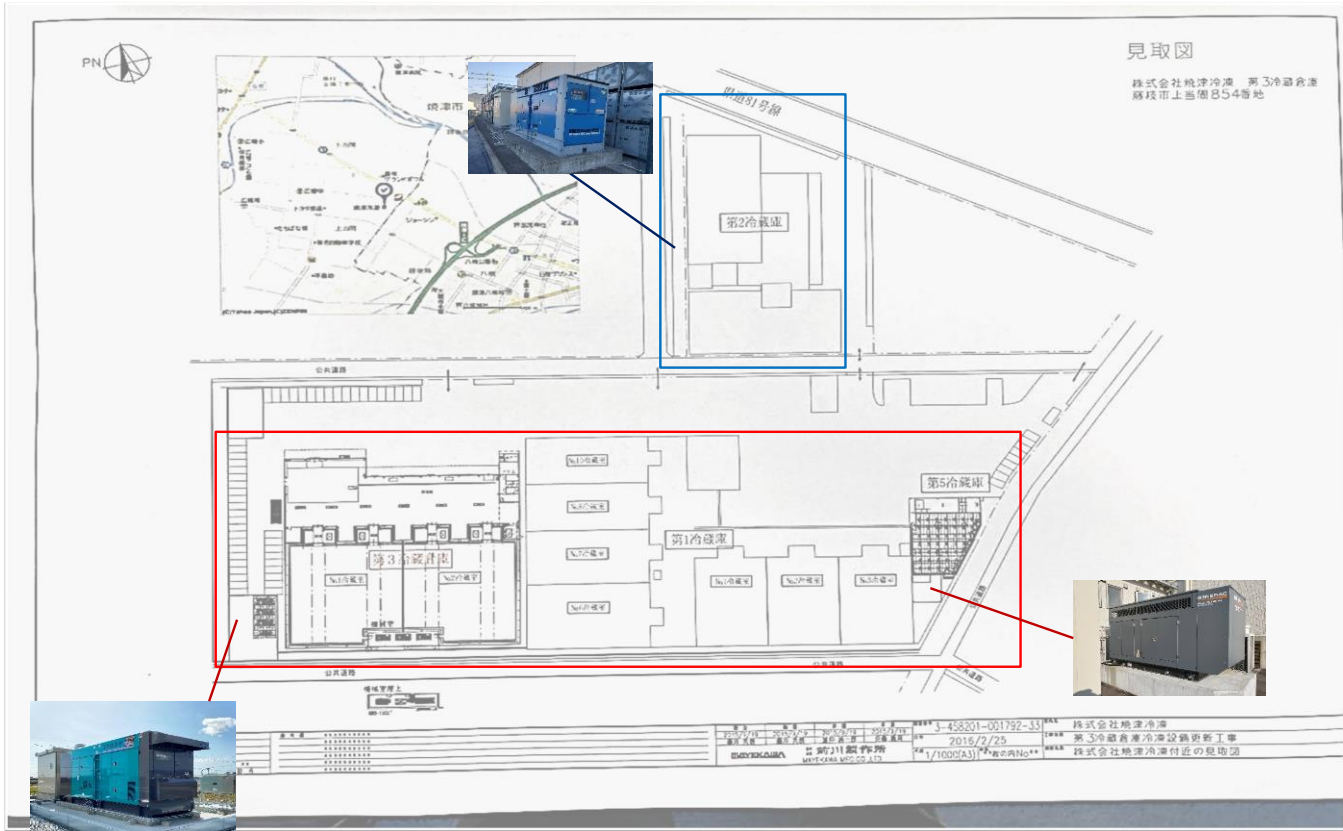


BCPによる、非常用発電機について



各発電機



事務所棟 150 k v



第2工場 400 k v



第1, 3工場 600 k v

発電機仕様

	容量	燃料	燃料タンク
第1, 3工場	600 k v	軽油	20000L
第2工場	400 k v	軽油	750L
事務所棟	150 k v	LPガス	2.9トン

想定 備蓄燃料での温度維持時間

		-60℃	-50℃	-40℃	-30℃
第1, 3工場	600 k v	10日間	20日間	30日間	50日
第2工場	400 k v	10時間	20時間	1.5日	4日間

※インフラ復旧するまで入出庫業務はしません。

※燃料確保により、維持時間は変化します。

令和3年1月に全工場に非常用発電機の設置が完了しております。
 これにより全工場、独自に電源を確保し冷蔵倉庫内の温度維持が可能となります。
 結果、お客様の商品の品質保持が確保できる体制が整いました。

非常用発電機設置前までは、対策として入出庫停止のみでしたが、現在は燃料確保が担保できると仮定すれば、電力復旧まで商品品質を守る冷却が出来ることとなります。